

令和元年度

学 校 評 価 資 料

本校職員による学校評価の集計結果	1
本校保護者による学校評価の集計結果	2
学校評価の結果を受けて(報告)	3

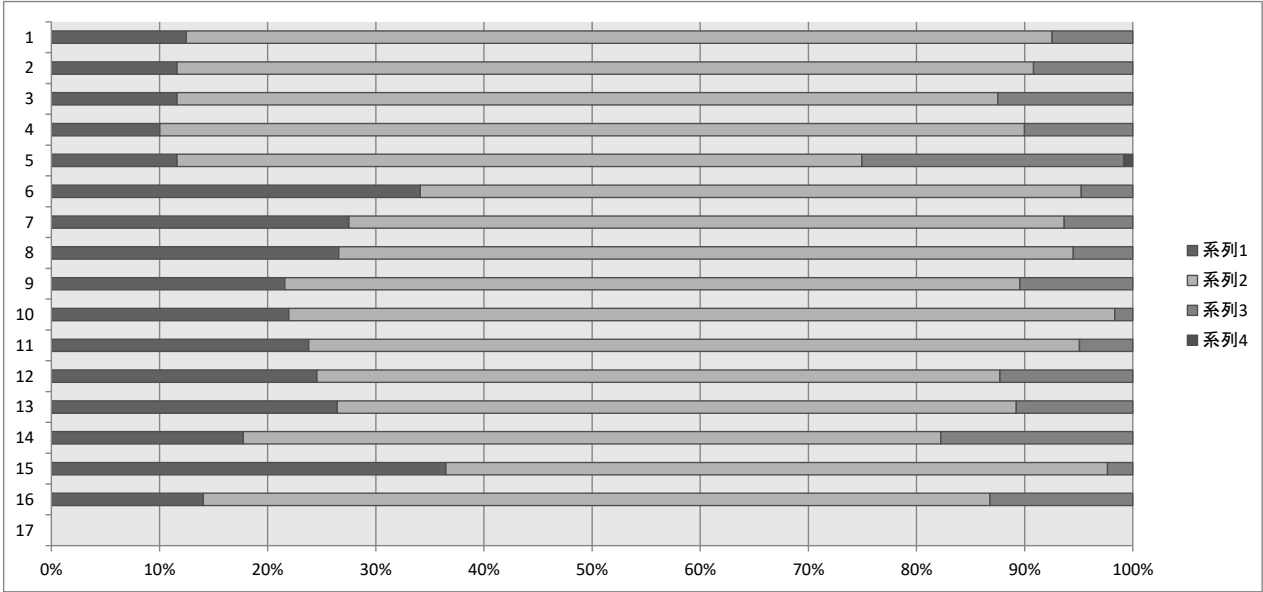
鹿児島県立牧之原養護学校

令和元年度学校評価(職員による自己評価)集計結果

＜評価4：十分達成 評価3：おおむね達成 評価2：やや不十分 評価1：不十分＞

職員数	回答数	回答率
128	128	100.0%

評価項目		評価割合					平均値	平均値の悪い順位	評価割合 4+3
		4	3	2	1	0			
I 教育課程	1 新学習指導要領の全面実施に向けて、教育課程の編成作業への取組を進めることができているか。	11.7%	75.0%	7.0%	0.0%	0.0%	3.1	7	86.7%
	2 児童生徒のニーズに対応する指導、学習形態や教育課程類型等に関する検討・試行・実践を進めることができているか。	10.9%	74.2%	8.6%	0.0%	0.0%	3	2	85.1%
	3 研修への参加等を通して、授業力及び専門性の向上に努めているか。	10.9%	71.1%	11.7%	0.0%	0.0%	3	2	82.0%
II 授業の充実	4 教材や学習活動の工夫、指示や発問等の最適化で、児童生徒主導の授業実践ができているか。	9.4%	75.0%	9.4%	0.0%	0.0%	3	2	84.4%
	5 地域施設や外部専門家等を活用しているか。また、児童生徒が自らの力を発揮できるような校外体験活動の充実が図られているか。	10.9%	59.4%	22.7%	0.8%	0.0%	2.9	1	70.3%
III 保健・安全指導	6 保健指導や日常生活の指導等を充実させたり、家庭との連携を密にしたりすることで、感染症の拡大防止に努めているか。	33.6%	60.2%	4.7%	0.0%	0.0%	3.3	15	93.8%
	7 ヒヤリハット情報の共有化で、職員のリスクマネジメント意識の向上が図られているか。	27.3%	65.6%	6.3%	0.0%	0.0%	3.2	10	92.9%
IV 生徒指導	8 職員自ら社会人としてのモデルとなり、挨拶・礼儀等を中心にした基本的生活習慣の指導充実に取り組んでいるか。	26.6%	68.0%	5.5%	0.0%	0.0%	3.2	10	94.6%
	9 いじめや不登校、諸問題行動等に対する校内の情報共有化を進め、組織的に対応することができているか。	21.1%	66.4%	10.2%	0.0%	0.0%	3.1	7	87.5%
V 児童生徒の生活の充実	10 保護者や学園等に対して、指導成果等の発信を積極的に行うとともに、連携強化のための取組を進めているか。	21.1%	73.4%	1.6%	0.0%	0.0%	3.2	10	94.5%
	11 児童生徒の生活の充実を目指して、福祉サービス事業所等との連携を深めることができているか。	22.7%	68.0%	4.7%	0.0%	0.0%	3.2	10	90.7%
VI センター的機能	12 ホームページやブログ等で、本校教育や児童生徒についての理解のための積極的な情報発信に取り組んでいるか。	23.4%	60.2%	11.7%	0.0%	0.0%	3.1	7	83.6%
	13 全職員の協働体制で巡回相談やサマーセミナーに取り組み、小・中学校等へ積極的に情報発信することができているか。	25.0%	59.4%	10.2%	0.0%	0.0%	3.2	10	84.4%
VII 環境整備	14 「1action1try」を意識して、業務の効率化に取り組んでいるか。	17.2%	62.5%	17.2%	0.0%	0.0%	3	2	79.7%
VIII 環境整備	15 安全点検による危険箇所等の把握と共通理解を行い、早期改善に向けた取組がなされているか。	35.9%	60.2%	2.3%	0.0%	0.0%	3.3	15	96.1%
	16 教材・教具等の計画的な整備とICT機器の積極的な活用に取り組んでいるか。	13.3%	68.8%	12.5%	0.0%	0.0%	3	2	82.1%

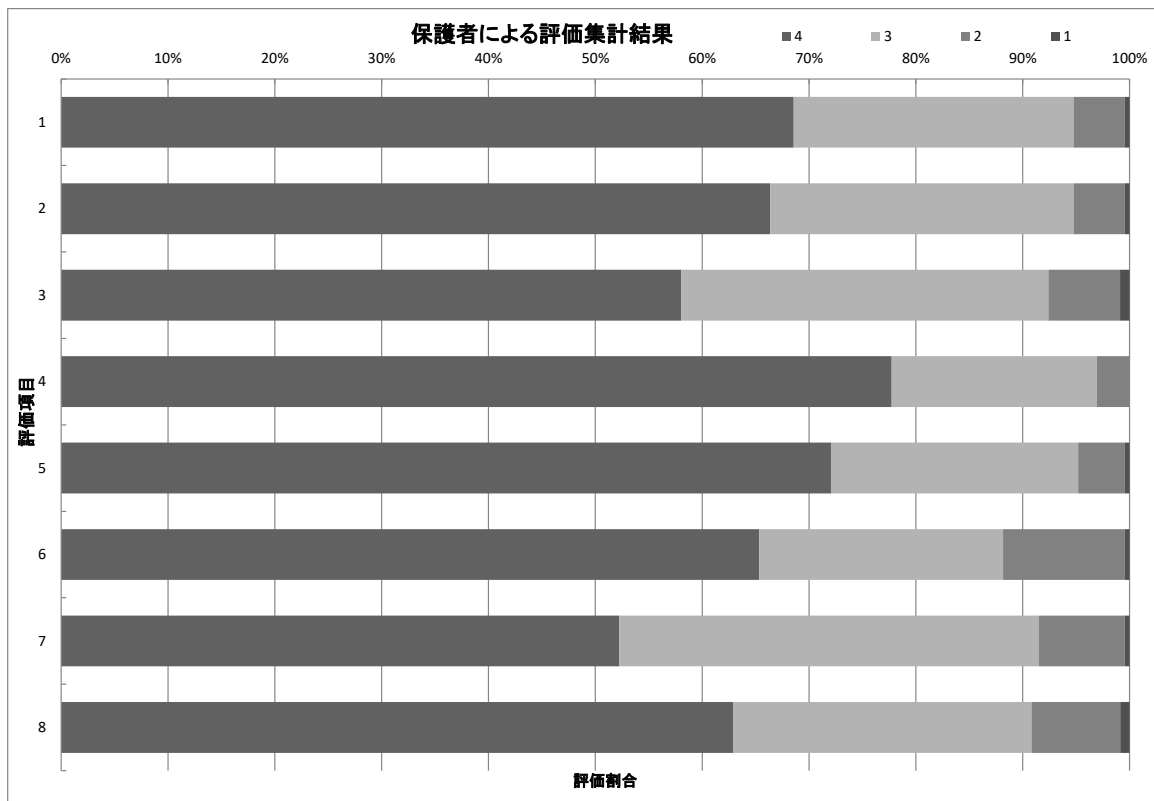


令和元年度学校評価(保護者による自己評価)集計結果

<評価4:思う 評価3:少し思う 評価2:あまり思わない 評価1:思わない>

総数	回答数	回答率
255	229	89.8%

		評価割合				平均値	評価割合 4+3
		4	3	2	1		
1	学校は、教材や学習活動を工夫し、児童生徒が自ら学ぶ授業づくりに取り組んでいる。	69.8%	26.7%	4.9%	0.4%	3.6288	96.4%
2	学校は、教員自らが社会人としてのモデルを児童生徒に示し、挨拶などの基本的な生活習慣の指導に取り組んでいる。	66.4%	28.4%	4.8%	0.4%	3.6070	94.8%
3	学校は、いじめや不登校、諸問題行動の防止のための取組を行い、保護者との連携に取り組んでいる。	58.0%	34.4%	6.7%	0.9%	3.4955	92.4%
4	学校は、校外学習、作品発表、製品販売、交流学習など、地域社会とのかかわりを充実させる取組を行っている。	77.7%	19.2%	3.1%	0.0%	3.7467	96.9%
5	学校は、保護者に対して、学校での取組や指導の成果などを「個別の指導計画」を活用して積極的に発信し、連携を図っている。	72.1%	23.1%	4.4%	0.4%	3.6681	95.2%
6	学校は、児童生徒に必要な情報を保護者と共有し、教育支援計画等に記載して、関係機関などにつないでいる。	65.4%	22.8%	11.4%	0.4%	3.5307	88.2%
7	学校は、ホームページやブログで本校の教育や児童生徒についての理解を促進するための積極的な情報発信に取り組んでいる。	52.2%	39.3%	8.0%	0.4%	3.4330	91.5%
8	学校は、施設設備を充実させ、児童生徒が安全に活動できるような環境づくりに取り組んでいる。	62.9%	27.9%	8.3%	0.9%	3.5284	90.8%



令和元年度学校評価を受けて（報告）

今年度の学校評価は、職員及び保護者ともに、各項目の「評価４：十分達成」「３：おおむね達成」を合わせた数値の平均値が８５％を超える高い評価結果となりました。多少の数値のばらつきはありますが、このことより、今年度の教育活動その他の学校運営については、その目標を概ね達成できていると考えることができます。７月の中間評価においては、昨年に引き続き小グループによる職員の話し合いの時間を設け、学校運営上の課題やその改善策についての意見交換をしました。このことが、課題の早期発見と速やかな改善の取組、職員の学校運営に対する意識向上に繋がり、高い評価結果になったと考えられます。

今回、職員による評価が比較的低い項目及び課題として出された意見について、各学部や各係において、今後の具体的な取組について検討いたしました。それらを今後の教育活動や業務に引き継ぎます。

本校では、今後も特別支援学校として、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援と地域における特別支援教育のセンター的機能を果たすべく、現在の取組を継続しながら、更に充実した教育活動ができるように取り組みます。